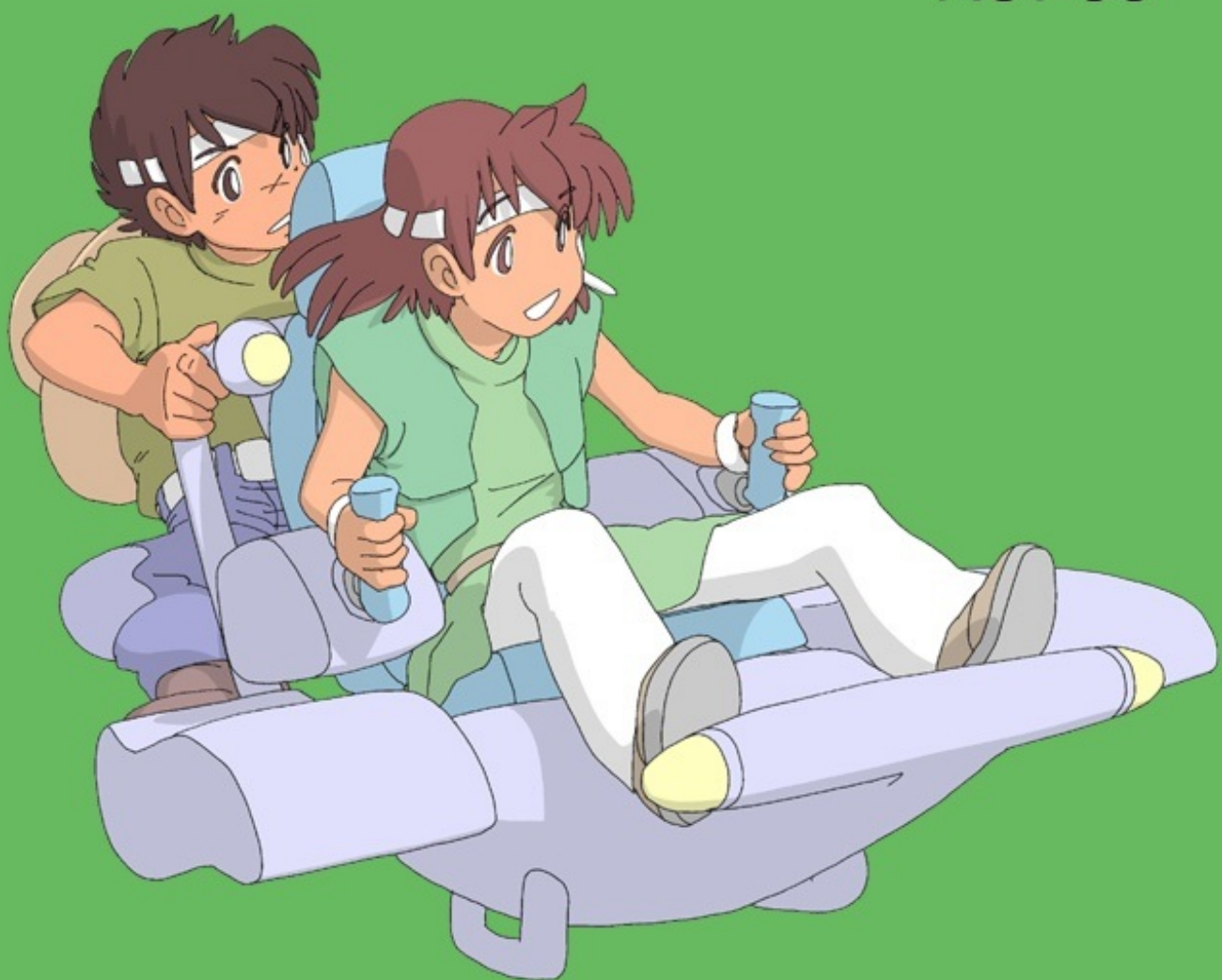


MAZCA

ナスカ

ACT 33

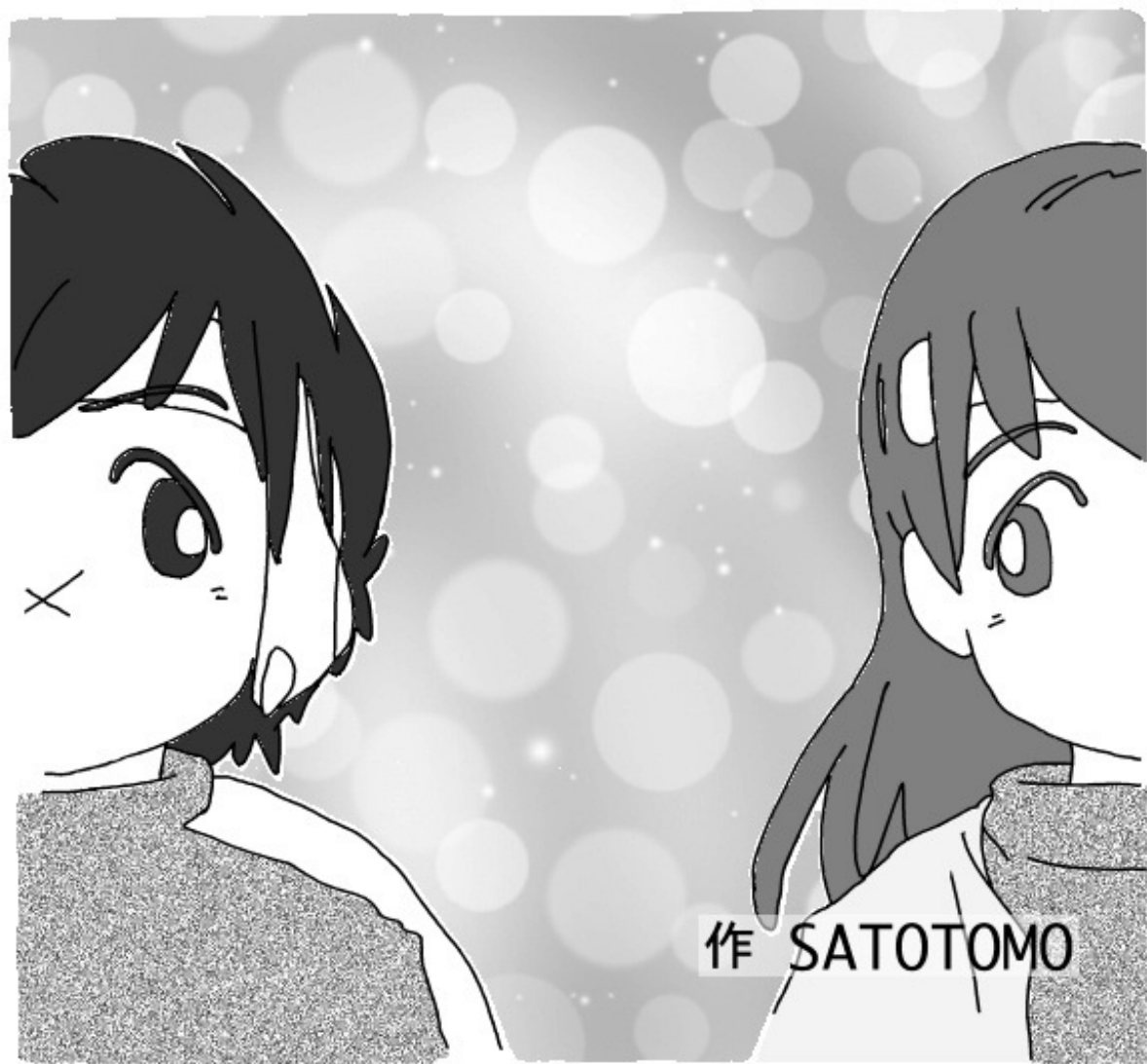


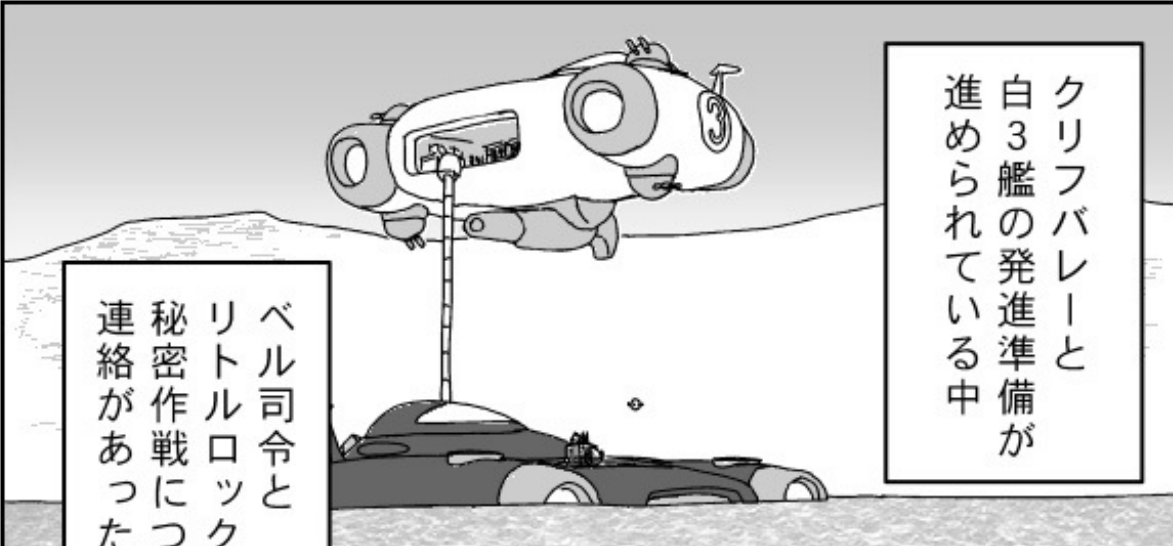
作 SATOTOMO

MAZCA

ナスカ


ACT 33





クリフバレーと
白3艦の発進準備が
進められている中


ベル司令と
リトルロックから
秘密作戦について
連絡があった



ナスカ、アレン
思念通話で
失礼する

今からする話は
当面、我々4人だけの
秘密とすること

承知しておいて
もらいたいこと
なのだが・・・



シナプスの力を要する
任務でしょうか？

いいですよ
言い付けて下されば
何でもやりますよ



いや、その逆で・・・

シナプスの反応を
検知した場合でも

何もしないで
知らない振りを
していてもらいた
い
ということなのだ



今の僕達2人の
シナプスの能力なら

隣艦にいても
その思念通話を

察知してしまう
でしょうから

いざ、その時に
なっても

騒がないでくれ
ってことですよ

了解です



こちらで拘束中の捕虜共を
暫くの間、泳がせておく

奴等が敵本体と
思念通話を使って

コンタクトを取るまで
我々は無関心を装う

要するに
トラップ仕掛けの
謀報作戦という
ことだ



ベル司令の
話の続きは私が
聞いておくから
ナスカは
ポブさんのレクチャの
修得に集中して

アレ、ゴメン
じゃ、頼んだよ



ナスカ!
作業の手が
止まってないか

迅速にやってくれ

ちよつと他事を考えてて
すぐにやりますから・



次はポブさんの
ロボをドッキング
ですよ?

判ってるなら
即、実施!

あいつら
出航が今夜
ってこと
判ってるん
だろうな・

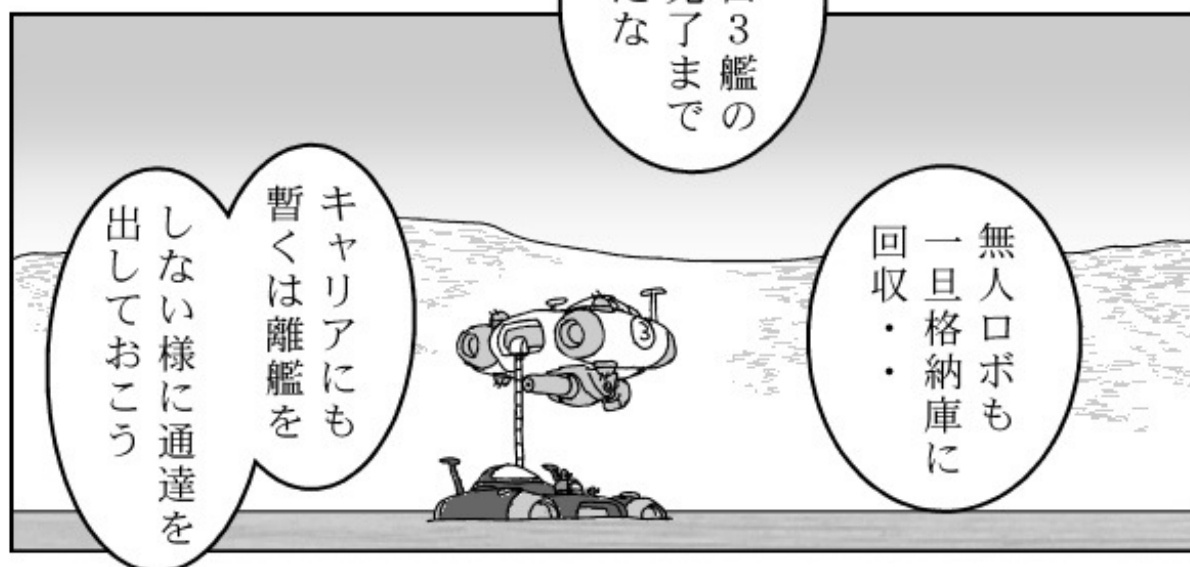


本艦の
資材積込
及び

燃料の補給は
完了しました

いつでも
出航OKです

後は白3艦の
態勢完了まで
待機だな



無人口ボも
一旦格納庫に
回収・

キャリアにも
暫くは離艦を

しない様に通達を
出しておこう



そして2艦は
その日の夜半に
黒軍本部を発ち

SHOO...

日が昇って
明るくなる
頃には

荒野の直中を
航行していた



すっかり見えなく
なっちゃったね

黒軍本部のある
オアシス

マジシャンファーム
方面になるのよね？

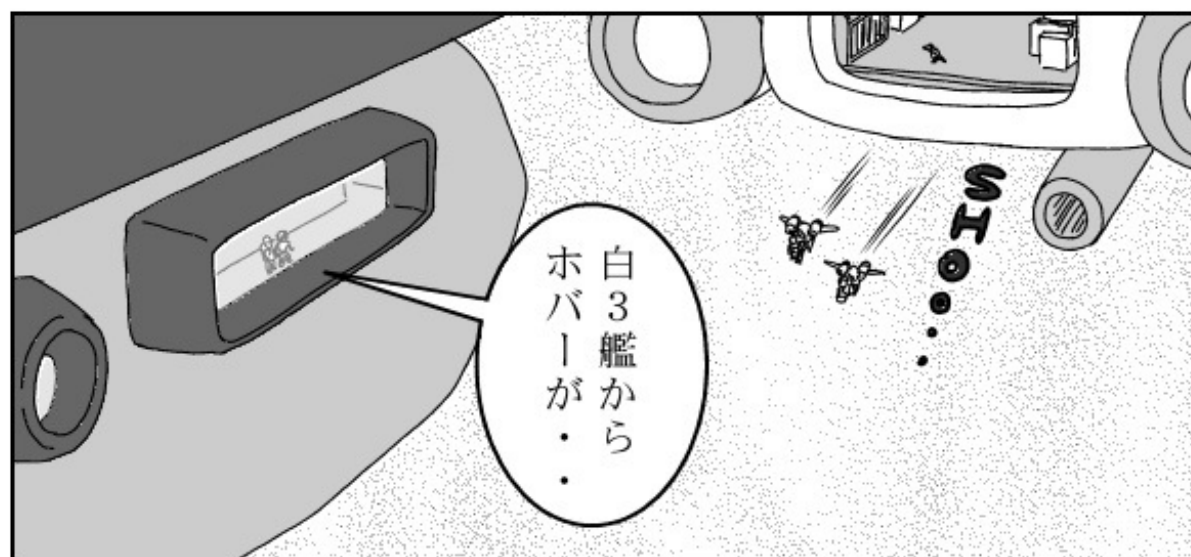
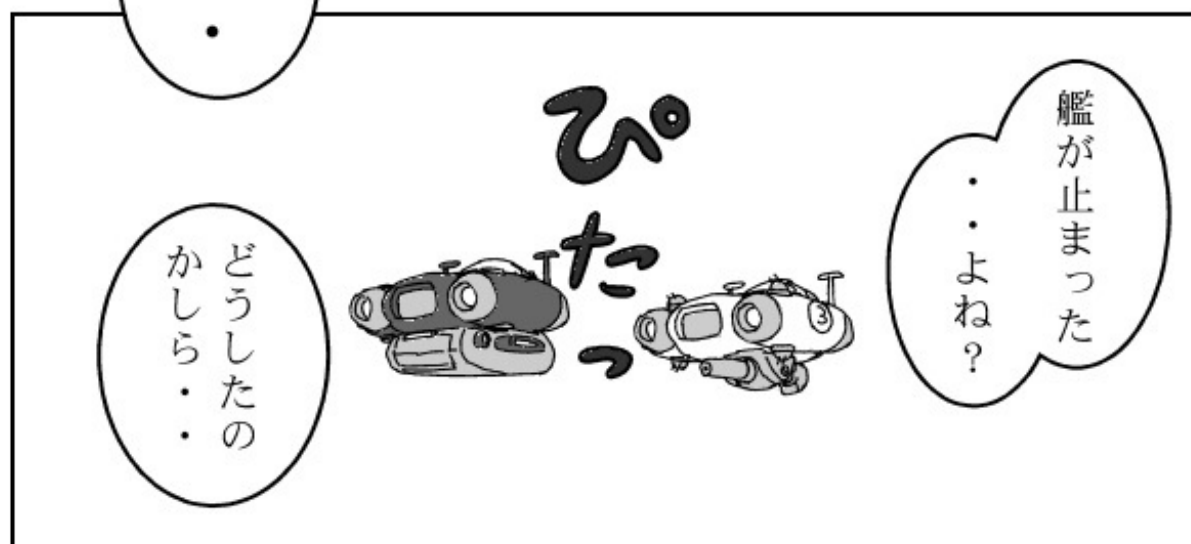
当面は
目指す先は

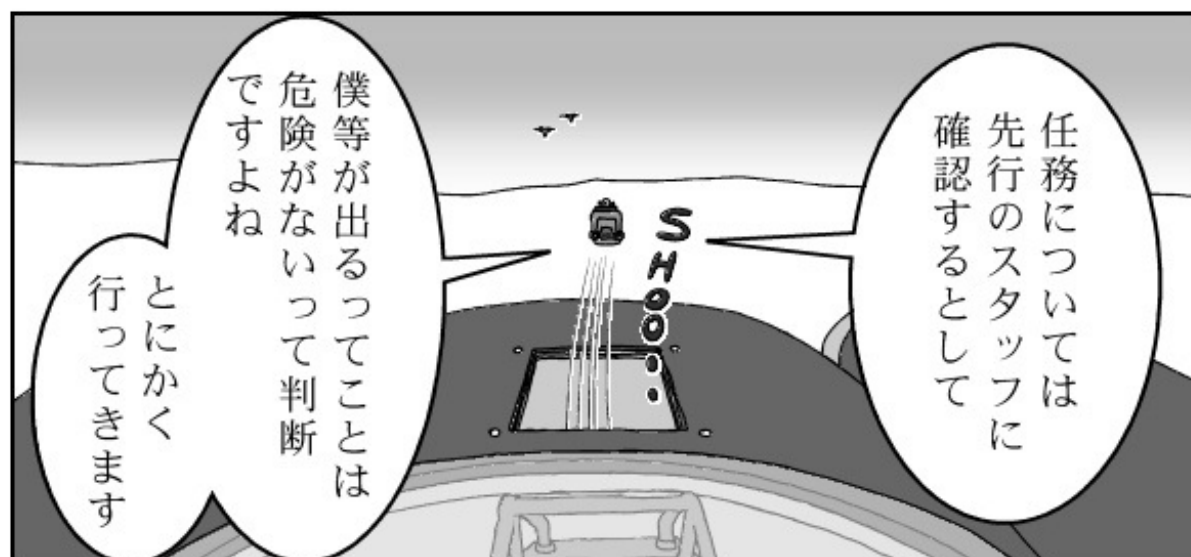
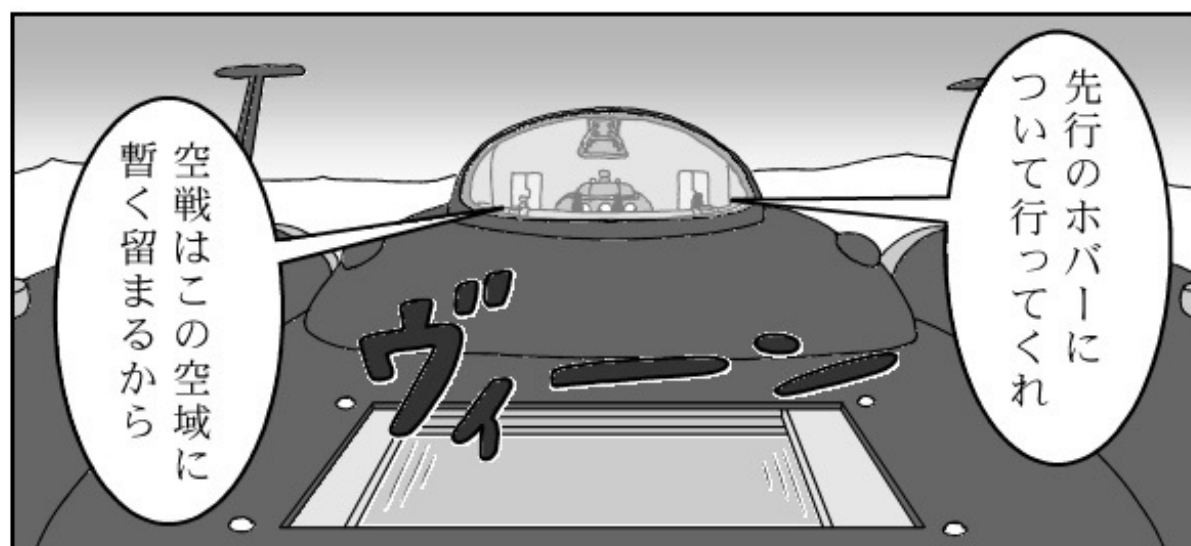
目的地が確定するのは
捕虜共がトラップに
掛かってくってから

暫くは私達
こんな感じで
思念通話で
コソコソ話すことが
増えそうね



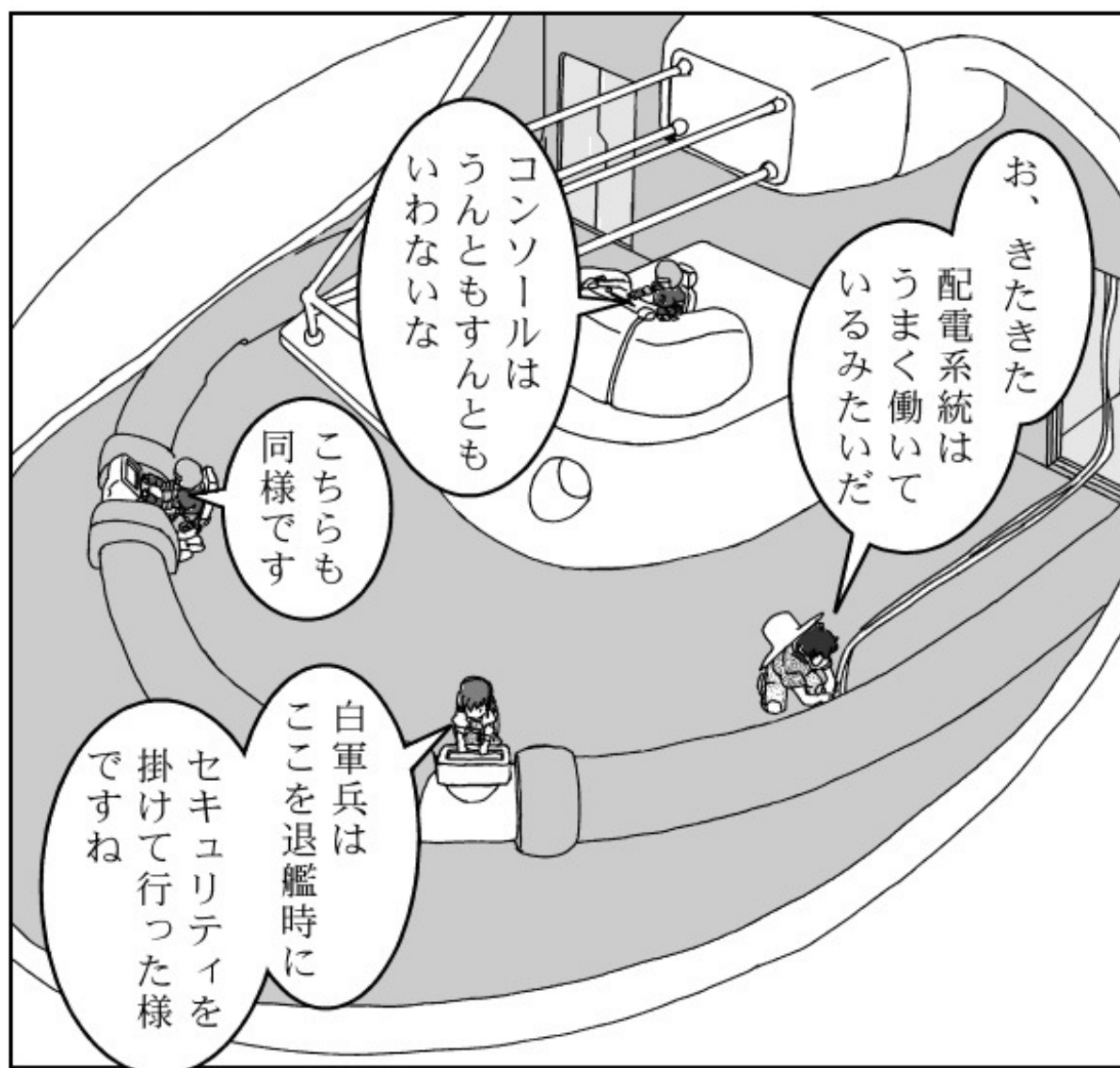
















確かにその方が
やり易いか

状況の把握から
対処の実施まで
適格に行えるし

白3艦の機能を
黒軍用にリビルド
する際に使用した
情報の一切が

この白2艦では
全く役に立って
いない様だ

腰を据えて
やる必要が
ありますね



白ロボを使って
パスワード解析を
掛けて

ロゲインを
アプローチ
してみます

あと

こちらの作業が
長期戦になる
だろうことも

ベル司令宛に
一報送ります



ねえ、ナスカ

思念通話
ちよつといい？

いいけど
何の話？



本当に微かな・・・

もしかしたら
気のせいかもと
思ったんだけど

私達以外の誰かの
思念波の流れを
感じない？

しかも方角は
白3艦の方から
なのだけれど



そうなのかい？
僕には特に何も・・・

気になることを
言ってくれるなあ

アレンは普段から
シナプス活性度が
高いからな

用心した方が
よさそうだ



白3艦で
シナプス思念波を
操れるのは

ベル司令と
リトルロック

あと、
拘束中の白軍
シナプソルジャー
隊員



ああ、これって
トラップ作戦の
一環なのか！



この状況下では
無関心を装うのが

ベル司令からの
事前指示だった
・ ・ けど

ここは
白3艦のスタッフに
打ち明けて

対応してもらっ
べきなのか？



ACT 34へつづく・・・

NAZCA ACT33

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2017年6月17日

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止します。

NAZCA ACT33

<http://p.booklog.jp/book/115459>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/115459>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト